

『古鷹山ビオトープ 災害復旧記念観察会』

報告書



古鷹山ビオトープ 災害復旧記念として、切串小学校全校生徒と災害について、生き物についての話と、メダカの放流を行いました。



2021年4月30日
(9:50~10:30)
株式会社カジオカLA

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会

- ◆ 日時：2021年4月30日（金） 9:50～10:30
- ◆ 内容：①古鷹山ビトプの災害について 古鷹山ビトプ・フォローアップ実行委員会
NPO法人日本ビトプ協会 梶岡 幹生
- ②江田島市長挨拶 江田島市長 明岳 周作
- ③メダカについての説明と放流 NPO法人日本ビトプ協会 清田 博之
- ④児童代表挨拶
- ◆ 参加者：切串小学校 全校生徒 46名 引率先生 7名
江田島市 7名
NPO日本ビトプ協会 2名
株式会社LA 2名 合計 64名

1

開会・あいさつ



梶岡主席ビトプアドバイザー
ビトプが何故災害に合ったか、災
害から、復旧までの説明と生き物の
大切さ等の説明



明岳市長挨拶
生き物を大切にし、やさしい江田
島っ子になって下さい。

2

メダカの説明と観察、放流



清田ビトプアドバイザー
メダカの生態について説明



ひとり1つずつペットボトルを貰い、
上から下から、じっくり観察



「元気に育つてね」と
声を掛けながら放流



3

戻って来ていた生物たち

ミズスマシ

アカガエルのオタマジャクシ



手足が生えたアカガエル

生まれたてのアメンボ



アメンボ



シュノーケルアオガエルの卵塊



石亀の雌

生徒代表挨拶

先輩から受け継いだ、ビオトープを通して学んだり体験してきたこの活動を、後輩にも繋げて行きたい。災害に強い、江田島市にしていきたいです。

